

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	体育Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0221		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	5		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	Active Sports 2017					
担当教員	坂田 洋満,篠村 朋樹,清野 哲也,佐々木 康允					
到達目標						
1.日常的に自己の体調管理を行い、授業を受けるために必要なコンディションを維持することができる。また、担当教員や仲間と協力し、主体的かつ安全に活動を実行できる。 2.各種スポーツ種目や体力テストを通して、自己の体力水準と課題を認識し、体力の維持増進を図ることができる。また、バドミントン、球技種目またはラケット競技種目（バスケットボール・バレーボール・卓球・テニス 他）の基礎的技術を習得し、ルールを理解してゲームを実施できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	欠席、遅刻、早退および見学がほとんどなく、安全に配慮して活動することができ、他者と円滑に関わることができる。		欠席、遅刻、早退および見学が少なく、概ね安全に配慮して活動することができ、さらに他者と円滑に関わることができる。		欠席、遅刻、早退および見学が多い。または安全に配慮して活動することができない。あるいは他者と円滑に関わることができない。	
評価項目2	自己の体力水準と課題を認識し、主体的・積極的に体力の維持増進を図ることができる。また、バドミントン及び球技種目またはラケット競技種目（バスケットボール・バレーボール・卓球・テニス 他）等の基礎的技術を習得し、ルールを理解してゲームを実施できる。		自己の体力水準と課題を認識し、体力の維持増進を図ることができる。また、バドミントン及び球技種目またはラケット競技種目（バスケットボール・バレーボール・卓球・テニス 他）等の基礎的技術を概ね習得し、ルールを理解してゲームを実施できる。		自己の体力水準と課題を把握できず、体力の維持増進を図ることができない。また、バドミントン及び球技種目またはラケット競技種目（バスケットボール・バレーボール・卓球・テニス 他）等の基礎的技術が習得できない。あるいは、ルールについての知識が少なく、ゲームや記録測定が行えない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	バドミントン及び球技種目またはラケット競技種目（バスケットボール・バレーボール・卓球・テニス 他）等の基礎的技術の習得とルールの理解を通して、それぞれのスポーツの特性を理解する。また、スポーツを通じた仲間との関わりの中で協調性やコミュニケーション能力を養う。さらにスポーツを生活の中に取り入れるための知識・技能・態度を身につける。					
授業の進め方・方法	授業は、主に体育館及びグラウンドで行う。準備運動に続いて、その日の主要課題を行う。					
注意点	・前・後期とも各種目について、授業内で実技テストを実施する。 ・授業への参加状況を60%、実技及びレポート等の成績を40%として総合評価する。 ・日常的に体調管理をしっかり行い、良い身体コンディションで授業に臨むこと。また、他者への十分な配慮を行い真面目に取り組むこと。 ・授業計画や評価方法は、天候等の事情により変更することがありうる。 ・実技の授業時には、学校指定の体育ジャージ・Tシャツ・体育館シューズを着用すること。 ・安全面に注意するとともに、体調不良時には必ず担当教員に申し出ること。 ・体育・スポーツ分野及び保健衛生分野に関する時事問題に関心を持ち、それらについて自分なりの考えを持っておくこと。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	授業のガイダンス及び実技		体育Ⅱの履修内容を把握し、履修上の注意点について理解できる。実技に関する重要事項等を把握し、運動に取り組むことができる。	
		2週	バドミントン		バドミントンの基礎技術とルール、審判法を理解できる。	
		3週	バドミントン		バドミントンの基礎技術とルール、審判法をゲームの中で用いることができる。	
		4週	バドミントン		バドミントンの基礎技術とルール、審判法をゲームの中で用いることができる。	
		5週	バドミントン		バドミントンの応用技術について理解できる。	
		6週	バドミントン		バドミントンの基礎技術、応用技術をゲームの中で用いることができる。	
		7週	バドミントン		バドミントンの基礎技術、応用技術をゲームの中で用いることができる。	
		8週	中間試験(実技テスト) バドミントン		実技テストにより、自己の各スポーツ種目に関する基本技術習得状況を把握する。	
	4thQ	9週	球技種目またはラケット競技種目（バドミントン競技・卓球・バスケットボール競技 他）		ゲームを中心とした活動の中で技能を高めるとともに、ルールへの理解を深めることができる。	
		10週	球技種目またはラケット競技種目（バドミントン競技・卓球・バスケットボール競技 他）		ゲームを中心とした活動の中で技能を高めるとともに、ルールへの理解を深めることができる。	
		11週	球技種目またはラケット競技種目（バドミントン競技・卓球・バスケットボール競技 他）		ゲームを中心とした活動の中で技能を高めるとともに、ルールへの理解を深めることができる。	
		12週	球技種目またはラケット競技種目（バドミントン競技・卓球・バスケットボール競技 他）		ゲームを中心とした活動の中で技能を高めるとともに、ルールへの理解を深めることができる。	

		13週	球技種目またはラケット競技種目（バトミントン競技・卓球・バスケットボール競技 他）	ゲームを中心とした活動の中で技能を高めるとともに、ルールへの理解を深めることができる。
		14週	球技種目またはラケット競技種目（バトミントン競技・卓球・バスケットボール競技 他）	ゲームを中心とした活動の中で技能を高めるとともに、ルールへの理解を深めることができる。
		15週	試験(実技テスト)・選択スポーツ	実技テストにより、自己の各スポーツ種目に関する基本技術習得状況を把握する。各種スポーツ種目の中から選択して、グループ活動を実施する。
		16週		

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	10	0	0	60	0	30	100
基礎的能力	10	0	0	60	0	0	70
専門的能力	0	0	0	0	0	20	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	10	10